



犬用 心臓サポート1は、初期の心疾患の犬に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、ナトリウム含有量およびナトリウム/カリウム(Na/K)比を調整するとともに、初期の腎臓病を考慮しリンを調整しています。さらに、カルニチンおよびタウリンを配合しています。

この食事療法食の対象



*1,2



● 初期の心疾患

食欲低下のみられる心疾患の犬では、嗜好性の高い食事が要求されます。心臓の健康を維持するために、L-カルニチンやタウリンを増強^{*1,2}し、ビタミンC、ビタミンE含有量を調整しています。心疾患の犬には食事中的ナトリウムの量を制限することが必要といわれていますが、近年、初期からの厳しいナトリウム制限はかえって悪影響を及ぼすことが分かってきました。このため、初期の心疾患では中程度のナトリウム制限が推奨されます。

● 慢性腎臓病(CKD)初期

腎臓の健康を維持するため、リンの含有量を調整しています。腎臓病の犬には食事中的リンの含有量を制限することが重要ですが、初期の腎臓病で尿毒症の兆候がみられない場合はタンパクの制限は必要ありません。

● 中・高齢犬の健康維持

※継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

成分

単位/400kcal

| | | | |
|--------|---------|-----------------------|-----------|
| タンパク質 | 33.5g | 銅 | 1.86mg |
| 脂肪 | 20.5g | 亜鉛 | 14.88mg |
| 食物繊維 | 7.4g | ナトリウム | 0.22g ↓ |
| 灰分 | 4.8g | EPA+DHA | 558mg ↑ |
| 水分 | 282.8g | L-カルニチン ^{*1} | 81.9mg ↑ |
| 炭水化物 | 24.6g | タウリン ^{*2} | 0.56g ↑ |
| カルシウム | 1.0g | アルギニン | 1.93g |
| カリウム | 0.74g | ビタミンE | 52.1mg ↑ |
| リン | 0.78g ↓ | ビタミンC | 16.74mg ↑ |
| マグネシウム | 0.06g | ビタミンB群 | 12.24mg |
| 鉄 | 11.16mg | | |

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化



規格: 200g

代謝エネルギー ... 108kcal/100g

1日の給与量の目安

| 成犬の体重(kg) | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 14 | 16 | 18 | 20 | 30 | 40 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|
| 標準 | 170g | 290g | 390g | 485g | 575g | 660g | 740g | 820g | 895g | 970g | 1310g | 1630g |
| 調整範囲 | 最大 | 215g | 305g | 410g | 510g | 605g | 695g | 775g | 860g | 940g | 1015g | 1375g |
| | 最小 | 110g | 180g | 245g | 305g | 360g | 415g | 465g | 515g | 565g | 610g | 825g |

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。

使用が推奨されない病態等

● 妊娠/授乳期、成長期

カルシウム、リンの含有量が不足するため推奨されません。

● 低Na血症

ナトリウムが不足し、低Na血症を助長する恐れがあるため推奨されません。

原材料

鶏肉、豚肉、米、コーングルテン、セルロース、魚油、トマトパウダー、カゼインカルシウム、大豆レシチン、マリーゴールドエキス(ルテイン源)、緑茶/パウダー(ポリフェノール源)、増粘多糖類、ミネラル類(Zn, Ca, P, Mg, Na, K, Cl, Fe, Mn, Cu, I)、アミノ酸類(タウリン、L-カルニチン)、ビタミン類(C, E, コリン, B1、ナイアシン、パントテン酸カルシウム、D3, B2, B6、葉酸、ビオチン、B12)

※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

- 初期の心疾患の場合には、「犬用 心臓サポート1 + 関節サポート(ドライタイプ)」、「犬用 ベッツプラン エイジングケア(ドライタイプ)」もあります。
- 心疾患の兆候がみられたら給与を開始することが推奨されます。また、この食事は多くの場合生涯にわたる給与が必要となります。

- 進行した心疾患の場合には、「犬用 心臓サポート2 (ドライタイプ、ウェットタイプ)」があります。
- 成犬の栄養要求を満たしています。
- 本製品の各適応に対して選択いただける他のパラエティーについては、「疾病からみる適応表(P.7, P.8)」をご覧ください。